

決算説明

2020年3月期
第2四半期

2019年11月11日

 株式会社田中化学研究所

目次

1. 2020年3月期 第2四半期 決算ハイライト
2. 2020年3月期 第2四半期 決算トピックス
3. 製品別販売数量 前期との差異要因
4. 製品別販売Q毎推移
5. 主原料国際価格推移（\$/LBベース）
6. 主原料国際価格推移（円/kgベース）
7. Northvolt（ノースボルト）社に対する
前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結
8. 営業利益 前期との差異要因
9. 営業外収支および特別損益
10. 比較貸借対照表
11. キャッシュ・フロー計算書
12. 今後のリチウムイオン二次電池市場
13. 技術開発の方向性
14. 2020年3月期 業績予想
15. 製品別販売数量推移予想

付属資料

16. 業績を見る注意点
- ## 注意事項

1. 2020年3月期 第2四半期 決算ハイライト



(単位:百万円)

	2018/9期	2019/9期	増減	増減率
売上高	16,888	10,686	△6,202	△36.7%
営業利益	219	△ 391	△611	—
経常利益	234	△ 410	△644	—
四半期純利益	185	△ 533	△718	—
EPS(円)	7.32	△ 16.39	△23.71	—
設備投資額	1,820	3,960	+2,139	+117.5%
減価償却費	262	399	+137	+52.4%
期末従業員数(人)	218	273	+55	+25.2%

2. 2020年3月期 第2四半期 決算トピックス



●販売数量は前年同期比 $\Delta 10.0\%$

- ・リチウムイオン電池向け $\Delta 15.8\%$ （民生用途 $\Delta 25.6\%$ 、車載用途 $\Delta 5.8\%$ ）
民生用途：最終製品の需要減少
車載用途：仕様変更に伴う承認作業の影響で一時的に減少
- ・ニッケル水素電池向け $+ 11.9\%$ （民生用途 $\Delta 27.1\%$ 、車載用途 $+ 18.1\%$ ）
車載用途：継続して好調

●主原料相場

- ・ニッケル・コバルト相場共に、前第2Qからの下落影響により、売上高は前期より大きく減少

●コスト上昇

- ・中期的な増産に向けた
設備投資による減価償却費増加
組織人員体制強化による労務費の増加

●設備投資

- ・設備投資金額計 3,960百万円
第二期投資分 5,000百万円 （2018年 8月～着工 ⇒ 2019年7月完成）
第三期投資分 8,000百万円 予定（2018年11月～着工 ⇒ 2020年6月完成予定）

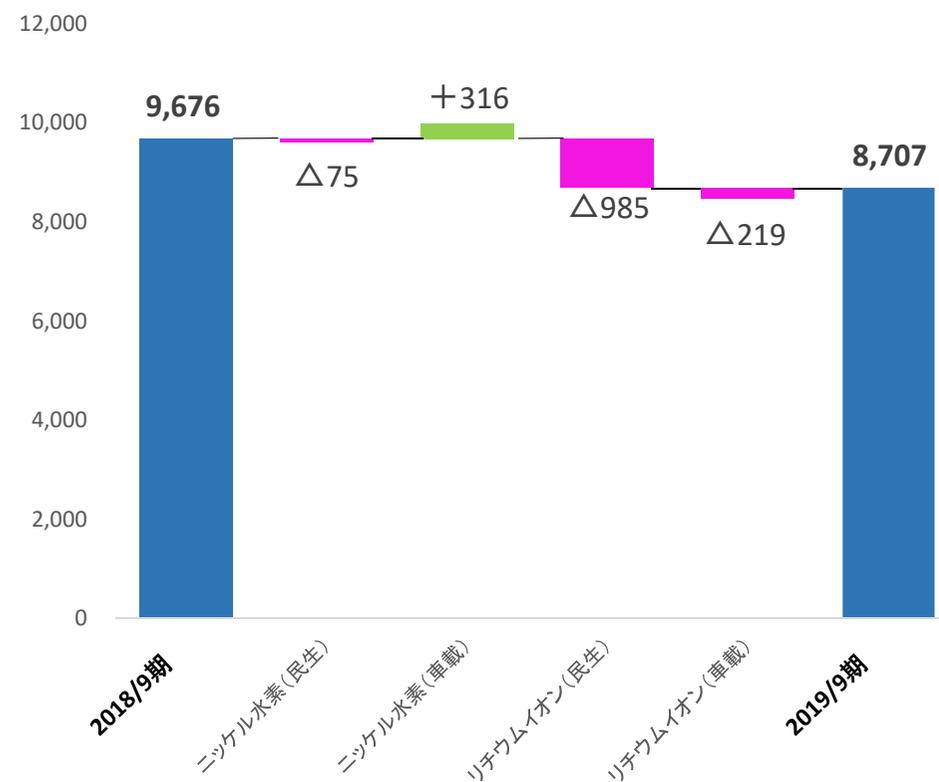
●Northvolt（ノースボルト）社に対する前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結

- ・2019年10月15日 スウェーデン・ストックホルムに本拠を置くNorthvolt 社との間で、前駆体製造技術のライセンス及び技術支援契約及び前駆体販売契約を締結

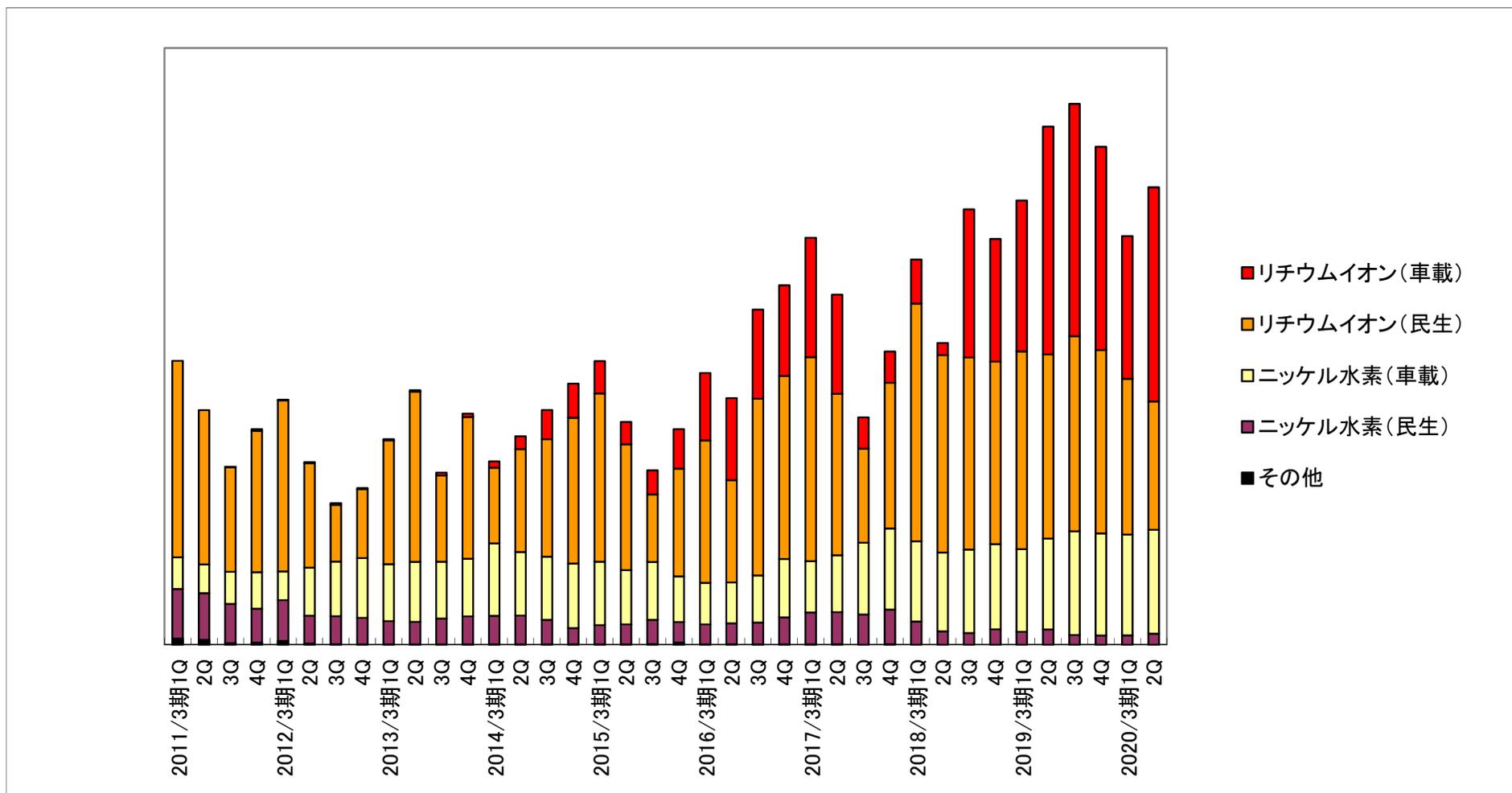
3. 製品別販売数量 前期との差異要因

(単位:t)

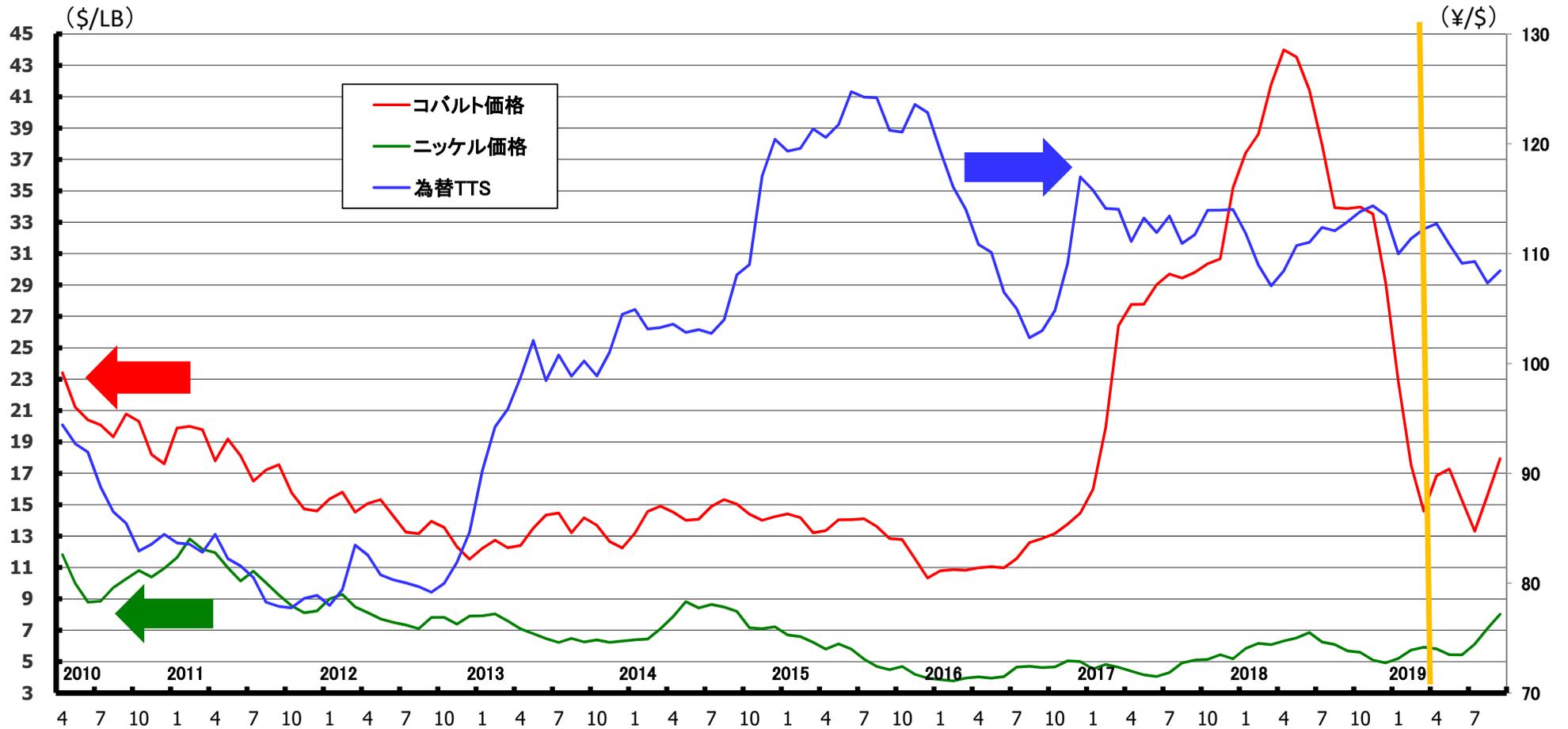
		2018/9期	2019/9期	増減	増減率
リチウムイオン	民生	3,841	2,856	△985	△25.6%
	車載	3,807	3,587	△219	△5.8%
	計	7,648	6,443	△1,204	△15.8%
ニッケル水素	民生	278	203	△75	△27.1%
	車載	1,744	2,060	+316	+18.1%
	計	2,022	2,263	+240	+11.9%
その他		4	0	△4	—
合計		9,676	8,707	△969	△10.0%



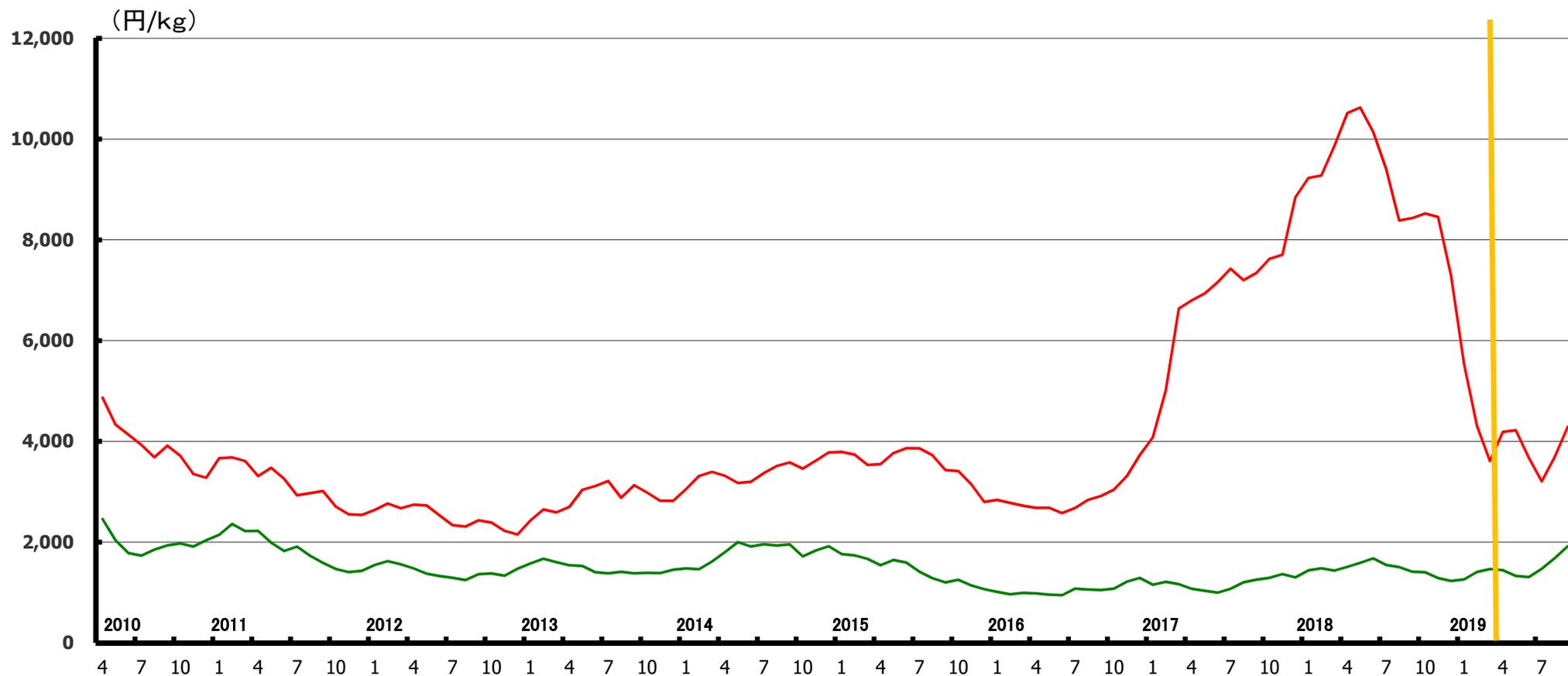
4. 製品別販売Q毎推移



5. 主原料国際価格推移 (\$/LBベース)



6. 主原料国際価格推移 (円/kgベース)



7. Northvolt (ノースボルト) 社に対する 前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結

●契約概要（締結日：2019年10月15日）

- ・前駆体製造技術のライセンス及び技術支援、前駆体販売契約
- ・技術支援の進捗状況に応じて、ライセンス / 技術支援料を受領予定

●Northvolt 社の概要

Northvolt 社は、車載用途を中心に次世代リチウムイオン電池の量産を目的として設立

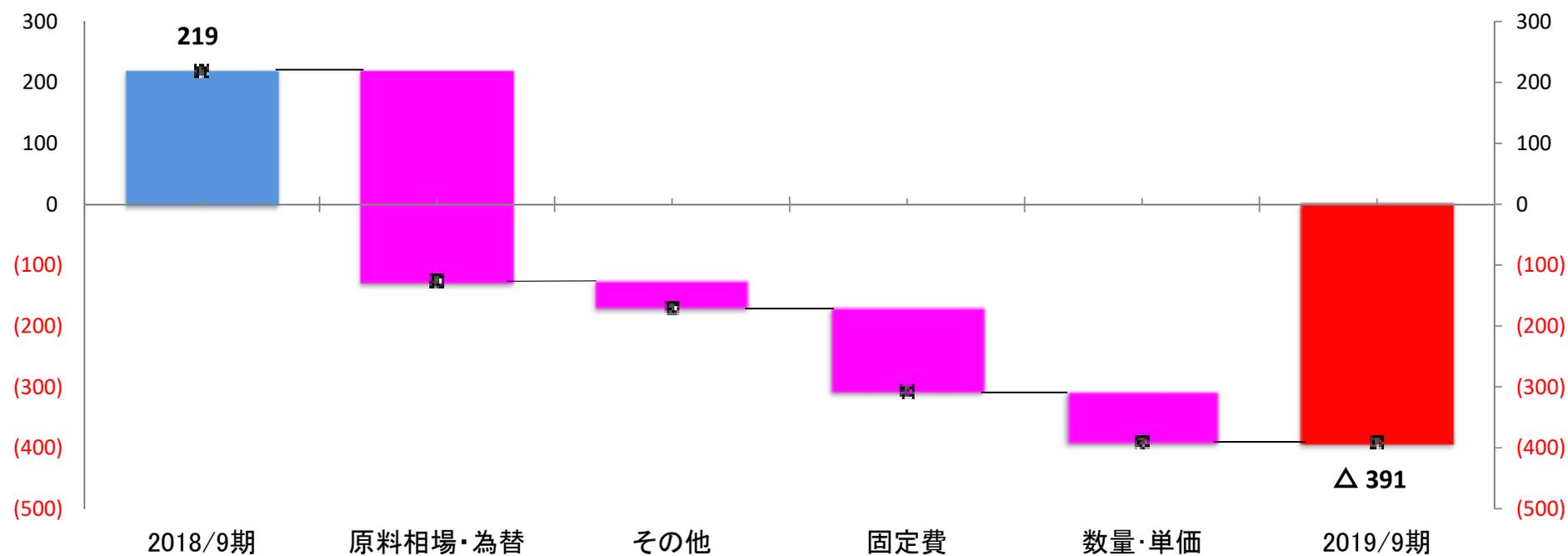
- ・名称 : Northvolt Ett AB (Stockholm, Sweden)
- ・事業内容 : リチウムイオン電池の製造販売
- ・大株主 : Northvolt AB
- ・WEBサイトアドレス : <https://northvolt.com/about/>

●今後の見通し

- ・当社2020年3月期の業績予想値に変化が生じる場合には、速やかに開示

8. 営業利益 前期との差異要因

(百万円)



9. 営業外収支および特別損益

(単位:百万円)

	2018/9期	2019/9期	増減
営業外収支	14	△ 18	△33
金融収支	△ 8	△ 5	+3
為替差損益	26	△ 10	△37
その他	△ 2	△ 2	+0
経常利益	234	△ 410	△644
特別損益	0	3	+2
税引前四半期純利益	235	△ 407	△642
法人税等	49	125	+76
四半期純利益	185	△ 533	△718

10. 比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2019/3期	2019/9期	増減
流動資産	16,065	11,933	△4,132
現預金	2,035	4,460	+2,424
売上債権	2,878	2,842	△35
棚卸資産	3,976	4,478	+501
グループ預け金	6,500	0	△6,500
その他	674	151	△522
固定資産	9,956	13,628	+3,672
有形固定資産	9,717	13,500	+3,782
機械装置他	5,160	4,982	△178
土地	1,263	1,263	—
建設仮勘定	3,293	7,254	+3,960
無形固定資産	6	7	+0
投資等	232	121	△110
資産合計	26,021	25,561	△459

	2019/3期	2019/9期	増減
流動負債	9,225	9,441	+215
仕入債務	4,564	4,302	△261
借入金	300	2,200	+1,900
その他	4,361	2,938	△1,422
固定負債	2,133	1,991	△142
借入金	2,100	1,950	△150
その他	33	41	+7
負債合計	11,359	11,432	+73
資本金	9,155	9,155	—
資本剰余金	6,662	6,662	—
利益剰余金	△ 1,169	△ 1,702	△533
自己株式	△ 2	△ 2	—
その他	15	16	+0
純資産計	14,662	14,129	△532
負債純資産合計	26,021	25,561	△459

自己資本比率	56.3%	55.3%	△1.1%
--------	-------	-------	-------

11. キャッシュ・フロー計算書

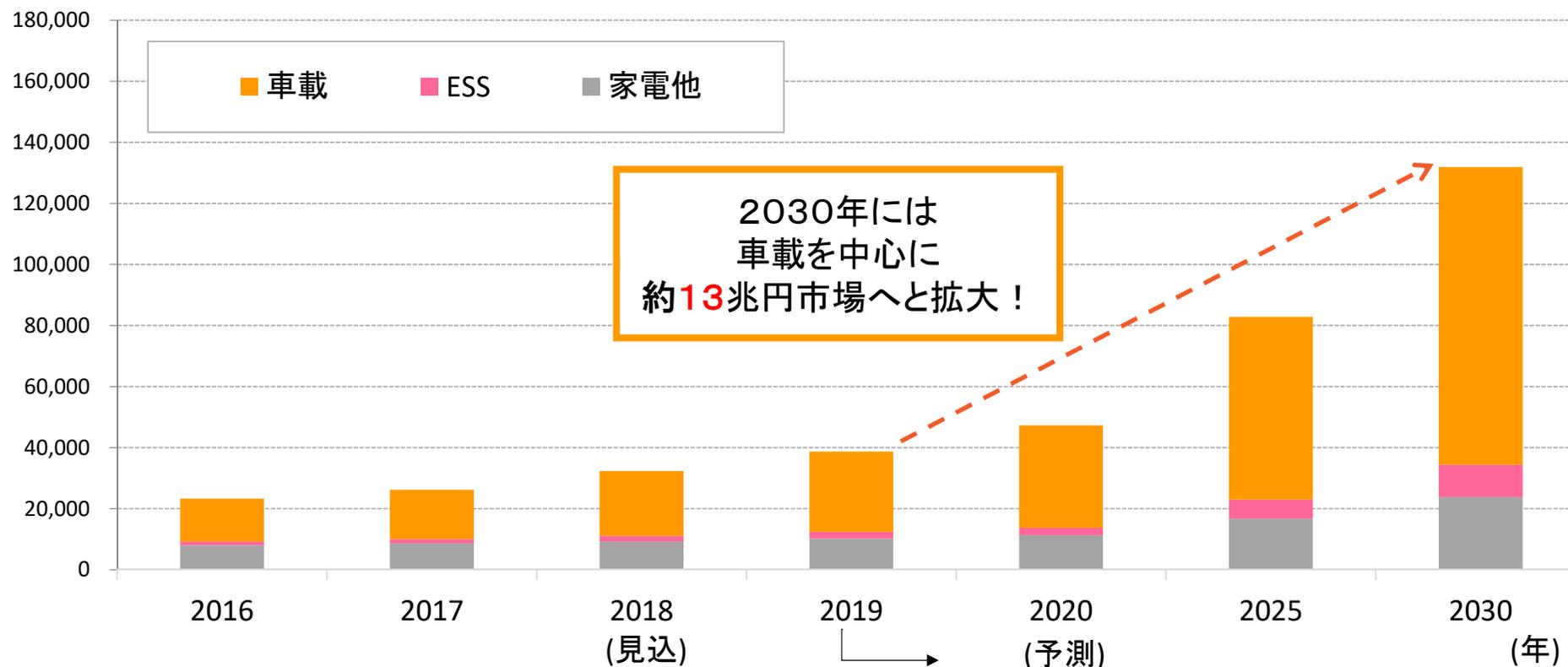
(単位:百万円)

	2018/9期	2019/9期	増減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期純利益	235	△ 407	△ 642
減価償却費	262	399	+137
運転資本による資金の増減	820	△ 727	△ 1,548
その他	347	392	+45
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,665	△ 342	△ 2,008
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 1,353	△ 5,393	△ 4,040
その他	0	3	+3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,354	△ 5,392	△ 4,038
フリー・キャッシュ・フロー	311	△ 5,734	△ 6,046
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増額	—	1,900	+1,900
長期借入金の返済による支出	△ 150	△ 150	—
その他	△ 68	△ 82	△ 14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 218	1,667	+1,886
現預金等換算差額	4	△ 7	△ 12
現預金等増減額	97	△ 4,075	△ 4,172
期末現預金残高	3,042	4,460	+1,417

12. 今後のリチウムイオン二次電池市場

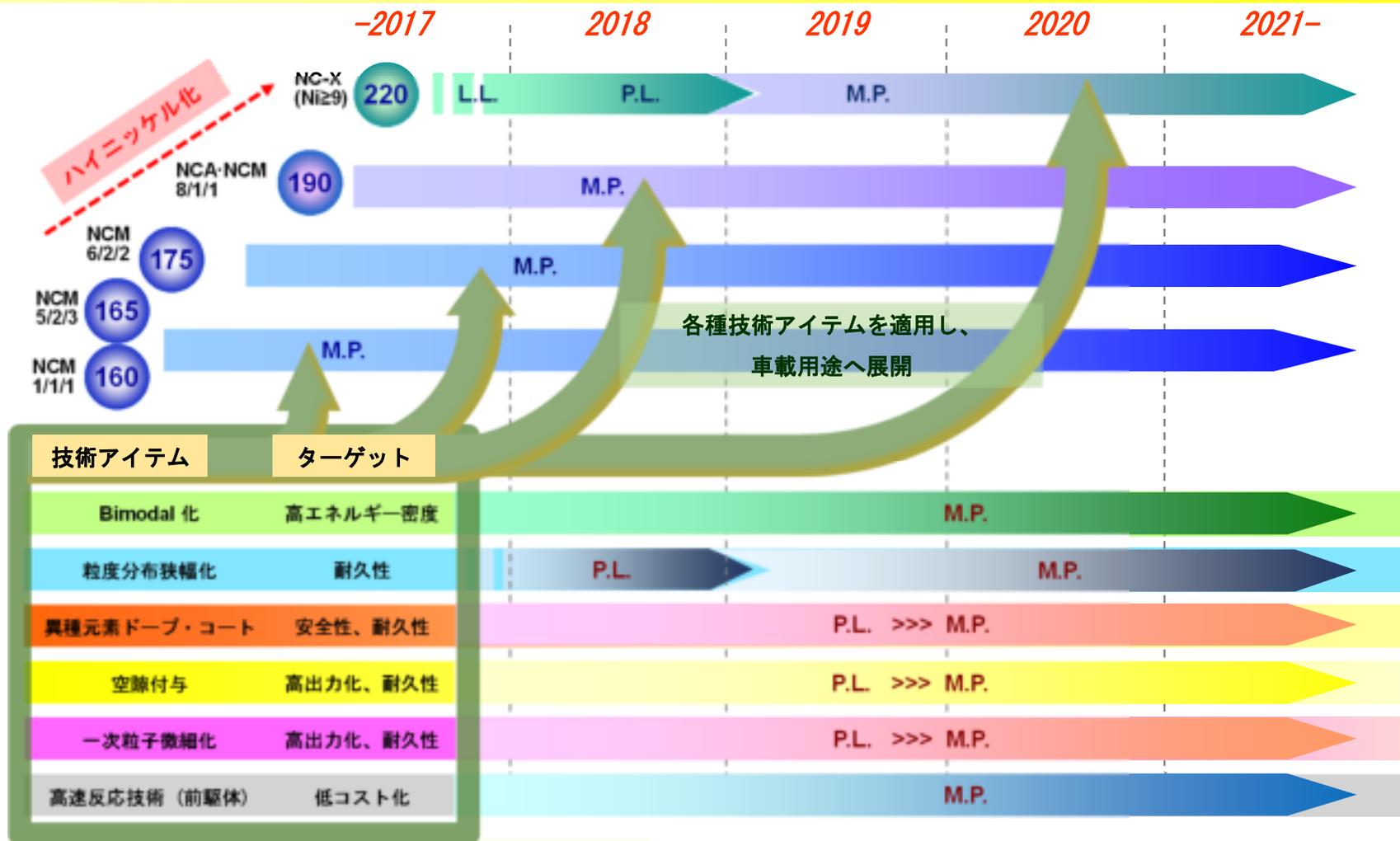
リチウムイオン二次電池市場予測

(単位: 億円)



出所: 富士経済「エネルギー・大型二次電池・材料の将来展望 2018—エネルギーデバイス編—」

1.3. 技術開発の方向性



L.L.: Lab Level, P.L.: Pilot Level, M.P.: Mass Production

14. 2020年3月期 業績予想

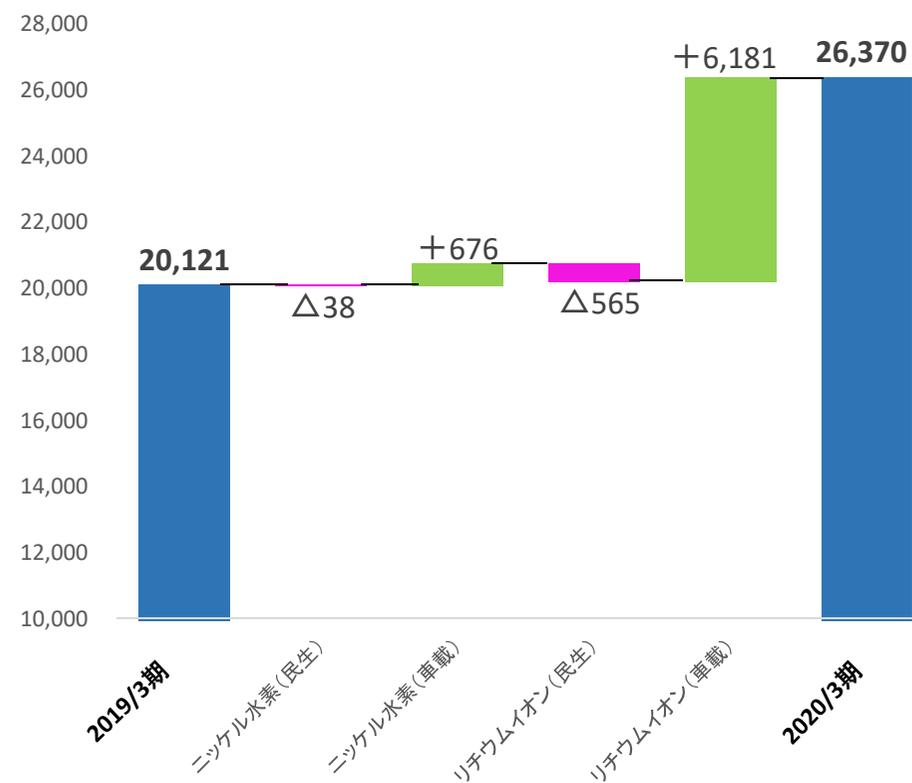
(単位:百万円)

	2019/3期 実績	2020/3期 予想	増減	増減率
売上高	32,632	32,000	△632	△1.9%
営業利益	△ 494	220	+714	—
経常利益	△ 521	190	+711	—
当期純利益	△ 524	170	+694	—
設備投資	5,248	9,140	+3,891	+74.2%
減価償却費	624	1,200	+575	+92.3%

15. 製品別販売数量推移予想

(単位:t)

		2019/3期	2020/3期	増減	増減率
リチウムイオン	民生	7,645	7,080	△565	△7.4%
	車載	8,188	14,370	+6,181	+75.5%
	計	15,833	21,450	+5,616	+35.5%
ニッケル水素	民生	467	428	△38	△8.3%
	車載	3,815	4,492	+676	+17.7%
	計	4,283	4,920	+637	+14.9%
その他		4	0	△4	—
合計		20,121	26,370	+6,249	+31.1%



付属資料

16. 業績を見る注意点

$$\begin{aligned} \text{売上高} &= \overbrace{(\text{主原料国際価格} + \text{加工単価})}^{\text{販売単価}} \times \text{販売数量} \\ &= (\text{主原料国際価格} \times \text{販売数量}) + (\text{加工単価} \times \text{販売数量}) \end{aligned}$$

//
利益に関係なく増減

//
利益の源泉
(加工収入)

1. 販売単価は、原則として主原料国際価格にスライドする。
従って、売上高は主原料国際価格の変動により利益に関係なく上下する。
2. 利益は「加工単価」と「販売数量」の積である加工収入にリンクしている。
3. 「加工単価」は製品の鮮度、技術的な革新性、工程の複雑さなどによる。

(注意事項)

本資料に掲載されている田中化学研究所の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、田中化学研究所の事業領域をとりまく経済情勢、市場における田中化学研究所の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において田中化学研究所が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。